

魚の歯を調べてみたら...

愛宕小 6年 三浦 麻悠子

1 動機

魚を食べているときに、カレイの口とアユの口などの形が全然ちがう、おもしろそうだったので調べてみることにした。


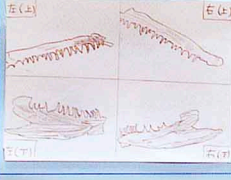
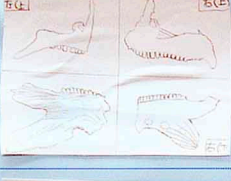
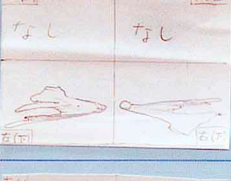

2 準備

魚の頭、湯、カメラ、ピンセット、バット、つまようじ、ノート、筆記用具、魚の図鑑

3 方法

- ①バットを用意し、その上に、魚の頭をのせる。
- ②お湯をかけて口の部分の身や皮をピンセットやつまようじで、とりのぞく。
- ③魚の歯の標本をよく見て記録する。
- ④水族館や図鑑を使、てえさやえさの食べ方を調べて、魚の歯とのかんけいを見つける。

4 結果

	歯の形	観察して気づいたこと	えさ、えさの食べ方
チダイ		チダイは真正面からよく分からないけど下から見ると歯が2段あるこの5つの中では1番歯の数が多し。平べ、たくて歯の形が人間の歯に少し似ているかんじがする。 小魚をすりつぶし、食べられるように歯が2段ある。	小魚、プランクトン(えさ) 小魚やプランクトンを食べるけどかみきらないで食いついてえもののうごきをとめてから飲みこむ。(食べ方)
ニジマス		ニジマスはアユと味は似ているけど歯の数や歯の形が全然ちがう。アユよりニジマスの方が歯の数が多し。ニジマスが1番歯の1本1本がはきりしている。見ためはトゲトゲしているけどさわるとそんなにいたくない。 ニジマスはかたいものや少し大きいものを食べているのでアユより歯の数が多くて、歯がとがっている。	水生昆虫や貝類、小魚(えさ) 水底からえさに向かって一直線に泳ぎ一気に食べる。(食べ方)
カレイ		上の歯の形がほとんど同じ形をしていて他のどの魚よりも歯が白く歯並びがとてもない。上の歯は右13本左7本下の歯は右18本左13本と右と左の歯の数が全然ちがう。 カレイは小さな生物を食べているので、小さな歯を持っている。	ゴカイとイワムシ(えさ) 小さなものをすいつく様にして食べる。 昼間は暗い所でねて、夜に食べ物を探しに行く。(食べ方)
サンマ		サンマは他の魚とちがって、歯がのどにあるらしい。なぜか分からないけど、のどに歯がある魚は胃がない。下おこきさわると内側の方だけとがっていておどはずり台のようにツルツルになっていた。 胃がないから食べたものをのどで歯ですりつぶして、消化をよくする。	動物性プランクトン、甲殻類、小魚、魚の卵(えさ) 1つ1つつぶむようにして食べる。(食べ方)
アユ		自分の目で見るときれいに並んでいるように見えるけど、虫めかねてよく観察すると歯並びが右と左でちがうということが分かる。さわるとカミヤスリみたい。 アユは、岩についているコケやもをけず、て食べているので歯の形がくしのような形になっている。	コケ、も(えさ) 岩についていたコケやもを横から歯でけずる。(食べ方)

5 考察

アユは、岩についているコケやもをけず、て食べているので歯の形がくしのような形になっている。ヒラメの歯の観察はできなかつたが少し調べてみると、カレイと比べて歯が大きくするどい。それはヒラメの方が大きいものを食べているからだ。た。このように、食べるものによって食べやすいように歯の形がちがっている。人間とちがう。魚の歯の形はいろんな形があつて楽しかつた。も、いろいろな魚の歯を調べてみたい。